

國學院大學学術情報リポジトリ「K-RAIN」

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 國學院大學 公開日: 2024-10-31 キーワード: 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001037

彙報

平成二十八年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター研究事業

〈出張〉

- ・「霧島神宮に関する調査・研究」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、上西亘（研究開発推進機構助教）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成二十九年二月二十四日（金）～二十六日（日）、鹿児島県霧島市（霧島神宮）

報 彙

- ・「霧島神宮に関する調査・研究」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、上西亘（研究開発推進機構助教）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成二十九年三月十日（金）～十二日（日）、鹿児島県霧島市（霧島神宮）
- ・「北海道神宮に関する調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成二十九年三月二十三日（木）～二十四日（金）、北海道札幌市（北海道神宮）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈出張〉

- ・「岩手県における東日本大震災被災地の復興に関する現地調査」、古沢広祐（経済学部教授）、茂木栄（神道文化学部教授）、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、杉内寛幸（研究開発推進機構ポスドク研究員）、平成二十九年三月十四日（火）～十七日（金）、岩手県沿岸地域（久慈市、田老町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市）

〈研究会〉

- ・平成二十八年度共存学公開研究会「多文化世界の可能性―『共存学4』執筆者と共に考える―」、第一部「講演、講演者」安達智史（近畿大学総合社会学部講師）「イスラムとの多様な共存?―マレーシア・イギリス・日本の女性ムスリムを事例に―」、第二部「執筆者報告・コメント・全体討論、報告者」笠間直穂子（文学部准教授）、黒澤直道（文学部教授）、松本久史（神道文化学部准教授）、杉内寛幸（研究開発推進機構ポスドク研究員）、ヘイヴンス・ノルマン（神道文化学部教授）、菅浩二（神道文化学部准教授）、菊田真司（法学部教授）、司会「古沢広祐（経済学部教授）」

平成二十九年年度（所屬・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター会議

- ・ 第一回、平成二十九年四月六日（水）十五時～十六時五十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第二回、平成二十九年九月二十六日（火）十三時～十四時、A M C棟五階会議室〇六

▽研究開発推進センター研究会

- ・ 第一回、東郷茂彦（研究開発推進機構共同研究員）「皇統維持の史的考察」、平成二十九年十月十日（火）十八時三十分～二十時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第二回、上西亘（研究開発推進機構助教）「山口鋭之助の祭政一致観について」、平成二十九年十月二十四日（火）十八時三十分～二十時、A M C棟五階プロジェクトルーム二

彙報

- ・ 第三回、小林威朗（研究開発推進機構共同研究員）「宣教師対宣教師―伊能穎則とジョージ・エンソル―」、平成二十九年十一月二十一日（火）十八時三十分～二十時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・ 第四回、坂井久能（研究開発推進機構共同研究員）「大村益次郎銅像と賀茂水穂」、平成二十九年十一月二十八日（火）十八時三十分～二十時三十分、A M C

棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮の研究）

〈出張〉

- ・ 「北海道神宮 札幌まつり調査」、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成二十九年六月十五日（木）～六月十六日（金）、北海道札幌市

- ・ 「北海道神宮所蔵資料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、大東敬明（研究開発推進機構准教授）、平成二十九年二月六日（火）～二月八日（木）、北海道札幌市（北海道神宮）

▽研究開発推進センター研究事業（霧島神宮の研究）

- ・ 霧島神宮誌編纂委員会第二回全体会議、平成二十九年七月十日（月）、十七時～十八時三十分、明治記念館

〈出張〉

- ・ 「霧島神宮に関わる調査・研究」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成二十九年十一月十七日（金）～十八日（土）、鹿児島県鹿児島市（鹿児島県立図書館）

- ・ 「霧島神宮に関わる調査・研究」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、上西亘（研究開発推進機構助教）、

高野裕基（研究開発推進機構助教）、平成二十九年十二月二十二日（金）～二十三日（土）、鹿児島県鹿児島市（鹿児島県立図書館）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈シンポジウム〉

・平成二十九年年度共存学公開シンポジウム「復興・伝統文化：ネットワーク―東日本大震災から七年目の今―」（共催）平成二十九年年度科学研究費助成事業基盤研究（C）「災害・復興と伝統文化の役割に関する学際的研究」（課題番号一七K一二六二〇、研究代表者・古沢広祐）、基調講演「滝澤克彦（長崎大学多文化社会学部准教授）「リスク社会」における地域社会のレジリエンスと祭礼の意義について」、個別報告「荒木奏子（陸前高田市）にじのライブラリー」前現地責任者「人が集まる場所とはじのライブラリーから見た復興と人々の暮らし」、東梅英夫（大槌町白澤鹿子踊保存会会長）「震災を超えて新たな未来へ」、久保田裕道（東京文化財研究所無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長）「無形文化遺産の災害復興と防災」、コメンテーター

ター＝茂木栄（神道文化学部教授）、黒崎浩行（神道文化学部教授）、司会進行＝古沢広祐（経済学部教授）、平成二十九年九月九日（土）十三時三十分～十七時三十分、AMC棟常磐松ホール

〈國學院の学問（共存学）〉各回十時三十分～十二時、一三〇六教室

・第一回、古沢広祐（経済学部教授）「共存学が目指す地平：地域から国際・グローバル地球社会（3・11東日本大震災後の日本と世界を考える）①」、四月十二日（水）

・第二回、古沢広祐（経済学部教授）「共存学が目指す地平：地域から国際・グローバル地球社会（3・11東日本大震災後の日本と世界を考える）②」、四月十九日（水）

・第三回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「都市生活における共存と神社の関わり―渋谷や各地での試み―」、四月二十六日（水）

・第四回、茂木栄（神道文化学部教授）「川・海のめぐみと社叢」、五月十日（水）

・第五回、茂木栄（神道文化学部教授）「映像で綴る―災害における人々の苦難と復興：祭り・伝統芸能がもつ地域の力」、五月十七日（水）

・第六回、黒澤直道（文学部教授）「中国ナシ族の過去と現在―急速な観光地化にゆれる生き様と「共存」―」、

五月二十四日(水)

・第七回、松本久史(神道文化学部教授)「神道における共存の可能性」、五月三十一日(水)

・第八回、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)「和歌から近代短歌へ―旧派と新派の共存―」、六月七日(水)

・第九回、菅浩二(神道文化学部准教授)「共存の困難さ」を考える―日鮮同祖論と神社、新たなネイション、エスニシティ構築と失敗―」、六月十四日(水)

・第十回、菅浩二(神道文化学部准教授)「冥王星と宇宙葬」、六月二十一日(水)

報
・第十一回、ヘイヴンズ・ノルマン(神道文化学部教授)「文化多様性と共存の行方―欧米の動向をふまえて―」、六月二十八日(水)

・第十二回、磯村早苗(法学部教授)「グローバル化時代の「共存」と越境的ガバナンス」、七月五日(水)

・第十三回、古沢広祐(経済学部教授)「食・農・環境から見た「共存」する世界―いのちの連鎖・多様性を考える―」、七月十二日(水)

・第十四回、高橋克秀(経済学部教授)「グローバル経済と格差問題をどう考えますか?―経済学的考察―」、七月十九日(水)

・第十五回、古沢広祐(経済学部教授)「授業の振り返

り」と課題授業」、七月二十六日

〈出張〉

・古沢広祐(経済学部教授)・黒崎浩行(神道文化学部教授)・杉内寛幸(研究開発推進機構ポスドク研究員)、

「宮城県における東日本大震災被災地に関する現地調査」、平成二十九年七月二十八日(金)～三十日(日)、宮城県仙台市、宮城県山元町

・古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、高橋雄一(研究開発推進機構臨時雇員)、「宮城県石巻市における東日本大震災被災地に関する調査」、平成二十九年九月三十日(土)～十月二日(月)、宮城県石巻市

・古沢広祐(経済学部教授)、菅浩二(神道文化学部准教授)、「東ヒマラヤ「自然共生学」国際フォーラム会議(グワハティ)および国際有機農業世界大会ブレ会議(ニューデリー)出席」、平成二十九年十月三十日(月)～十一月九日(木)、インド、アッサム州グワハティ・ニューデリー
・古沢広祐(経済学部教授)、茂木栄(神道文化学部教授)、高橋雄一(研究開発推進機構研究補助員)、「宮城県気仙沼市における東日本大震災被災地に関する調査」、平成二十九年十二月十六日(土)～十八日(月)、宮城県気仙沼市

「渋谷学」グループ

〈研究会・シンポジウム〉

- ・ 第一回渋谷学研究会「再開発と渋谷川〜まちづくりと都市河川再生の軌跡〜」、報告Ⅱ石井健蔵（NPO法人ルネッサンス事務局長）「渋谷川の変遷とまちづくり」、富澤房雄（東京都建設局河川部計画課低地対策担当課長）「都市河川再生とまちづくり」、中田和宏（渋谷区都市整備部都市基盤整備担当課長）「渋谷川の未来〜渋谷の再開発が目指すまちづくり〜」、コーディネーター：司会Ⅱ田原裕子（経済学部教授）、平成二十九年八月二十八日（月）十八時〜二十時三十分、二二〇二教室
- 〈総合講座「渋谷学」〉 各回十時三十分〜十二時、二一〇二教室
 - ・ 第一回、林和生（文学部教授）「台地と川がつくった魅力あふれるにぎわいの街・渋谷Ⅰ台地（丘）と河谷と坂道の街Ⅰ」、九月二十七日（水）
 - ・ 第二回、西樹（シブヤ経済新聞編集長）「シブヤ経済新聞と渋谷」、十月四日（水）
 - ・ 第三回、吉岡孝（文学部教授）「谷間の村と町の風景Ⅰ渋谷学Ⅰ」、十月十一日（水）
 - ・ 第四回、吉岡孝（文学部教授）「江戸時代の渋谷Ⅰ羽沢三房をめぐる空間と周辺の名所」、十月十八日（水）
- ・ 第五回、手塚雄太（文学部助教）「渋谷区の誕生」、十月二十五日（水）
- ・ 第六回、上山和雄（文学部名誉教授・大学院客員教授）「近代の渋谷」、十一月一日（水）
- ・ 第七回、吉田律人（文学部兼任講師・研究開発推進機構共同研究員）「代々木練兵場の社会史」、十一月八日（水）
- ・ 第八回、高久舞（文学部兼任講師・研究開発推進機構客員研究員）「渋谷のイメージ×渋谷の現実」、十一月十五日（水）
- ・ 第九回、飯倉義之（文学部准教授）「渋谷を巡るハナシと記憶」、十一月二十二日（水）
- ・ 第十回、秋野淳一（研究開発推進機構客員研究員）「渋谷の神々〜モニュメント・小祠・都市祭りからみえる宗教性〜」、十一月二十九日（水）
- ・ 第十一回、遠藤潤（神道文化学部准教授）「近世渋谷の仏教」、十二月六日（水）
- ・ 第十二回、黒崎浩行（神道文化学部教授）「渋谷の住宅地と神社祭礼」、十二月十三日（水）
- ・ 第十三回、田原裕子（経済学部教授）「渋谷らしさの構築と変容〜若者の街、ファッションの街、ITの街〜」、十二月二十日（水）
- ・ 第十四回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー

「統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済的な特徴と課題」、一月十日(水)

・第十五回、山口堪太郎(東急電鉄株式会社)『「渋谷文化」と再開発」、一月十七日(水)

▽外部研究機関との共催研究事業

・神道文化会第十九回公開講演会「和歌と神道文化」(共催)

● 國學院大學研究開発推進センター)、講演一「和歌を詠み言霊(ことだま)を味わう」、講師 田中章義(歌人・作家)、講演二「明治期の和歌と御歌所」、講師 宮本蒼士(國學院大學研究開発推進機構准教授)、平成二十九年六月二十四日(土) 十五時～十七時三十分、五号館五二〇二教室

報 彙

・明治聖徳記念学会公開シンポジウム「近代の皇室制度

―その運用と課題―(共催) 國學院大學研究開発推進センター)、講演一「井上毅と近代皇室制度の形成」、講師 齊藤智朗(國學院大學神道文化学部教授)、講演二「近代皇室経済制度の成立と課題」、講師 川田敬一(金沢工業大学基礎教育部教授)、コメンテーター 武田秀章(國學院大學神道文化学部教授)、藤田大誠(國學院大學人間開発学部教授)、司会 藤本頼生(國學院大學神道文化学部准教授)、平成二十九年七月十五日(土) 十三時三十分～十七時三十分、明治神宮参集殿

・首都圏西郊研究会「首都西郊の拡大とインフラ整備」

(共催) 渋谷学研究会・首都圏形成史研究会、報告 松本洋幸(大正大学文学部准教授)「大正期の渋谷町と町営水道の敷設」、岡田直(横浜都市発展記念館学芸員)「首都圏における「西郊」地域の位置づけ」高度成長期を中心とした国勢調査データによる考察」、司会 吉岡孝(文学部教授)、平成三十年一月六日(土) 十四時～十七時、A M C棟五階会議室〇六

▽國學院大學院友神職会総会研究報告会

・東郷茂彦(研究開発推進機構共同研究員)「皇統維持の史的考察」、平成二十九年十月十九日(木) 十九時三十分～二十時、五号館五二〇二教室

▽成果公開

〈刊行物〉

・『渋谷学ブックレット5 再開発と渋谷―まちづくりと都市河川再生の軌跡―』、平成三十年三月
 ・『共存学ブックレット2 復興・伝統文化・ネットワーク―東日本大震災から七年目の今―』、平成三十年二月
 ・『都市民俗研究』第二十三号、平成三十年二月
 ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第十二号、平成三十年三月